

報道関係各位

2024年9月12日
株式会社クロス・マーケティング

日本の食料自給率への不安感は8割越え 昨年より「四季がなくなる」「農作物の品質低下・不作」の懸念が強まる

－ 気候変動に関する調査（2024年） －

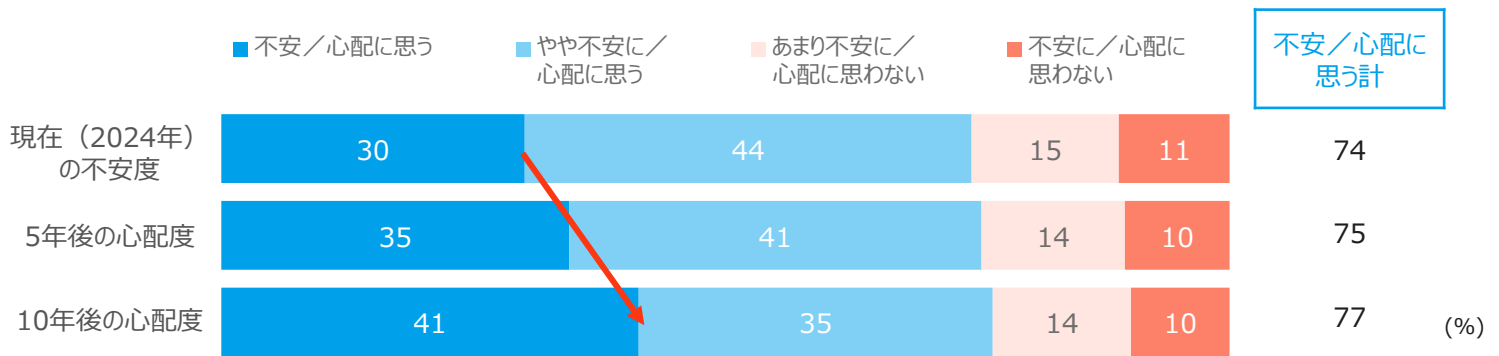
株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、2024年8月、全国20～79歳の男女2,400名を対象に「気候変動に関する調査（2024年）」を行いました。大気中の二酸化炭素濃度や紫外線量の増加による地球温暖化の気候変動について、不安感などの意識を中心に聴取しました。今回は、将来への不安、日本の食料自給率に対する不安、自然災害や身体への影響、環境や生態系への影響に着目し分析をしました。

■ 調査結果（一部抜粋）

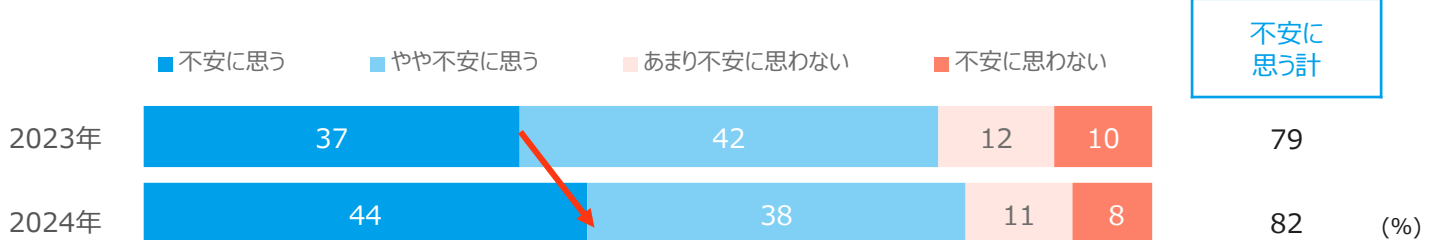
- ✓ **【気候変動に対する不安】** 現在の気候変動に対し「不安に思う（TOP BOX）」は30%、「やや不安に思う」44%と合わせて74%は“不安感”を持っている。今から5年先と10年先の気候変動への「心配に思う（TOP BOX）」の割合は、5年先で35%、10年先では41%と現在の不安感を上回る心配度合となっている。<図1>
- ✓ **【日本の食料自給率】** 日本の食料自給率への不安について“2023年度の日本の食料自給率（カロリーベース）は、3年連続の38%で先進国の中で最低の水準”を呈示した上で聴取した。「不安に思う」は44%、「やや不安に思う」は38%、合わせて82%が食料自給率に不安をもつ結果となった。今年は店頭からお米が消えたこともあってか、「不安に思う」は、昨年より7ptも上昇した。<図2>
- ✓ **【不安項目】** 気候変動で起こる自然災害や身体への影響に対する不安は、「大雨やゲリラ豪雨が増える」63%、「台風が増える」53%、「農作物の品質低下や不作」52%、「熱中症にかかる」「干ばつや渇水が増える」が4割台と続く。環境や生態系への影響に対する不安では、「日本の四季がなくなる」48%、「日本海域の魚貝の生息域の変化」40%、「水質の悪化や水資源の減少」が33%と高い。昨年と比べ、猛暑による野菜の高騰の影響から「農作物の品質低下や不作」、長く続く記録的な暑さから「日本の四季がなくなる」において、最も不安に感じる割合が高まっている。<図3・4>

◆ 詳細情報は本レポートに掲載しております。 <https://www.cross-m.co.jp/report/other/20240912climatechange/>

<図1> 気候変動に対する不安・心配度（単一回答：n=2,400）

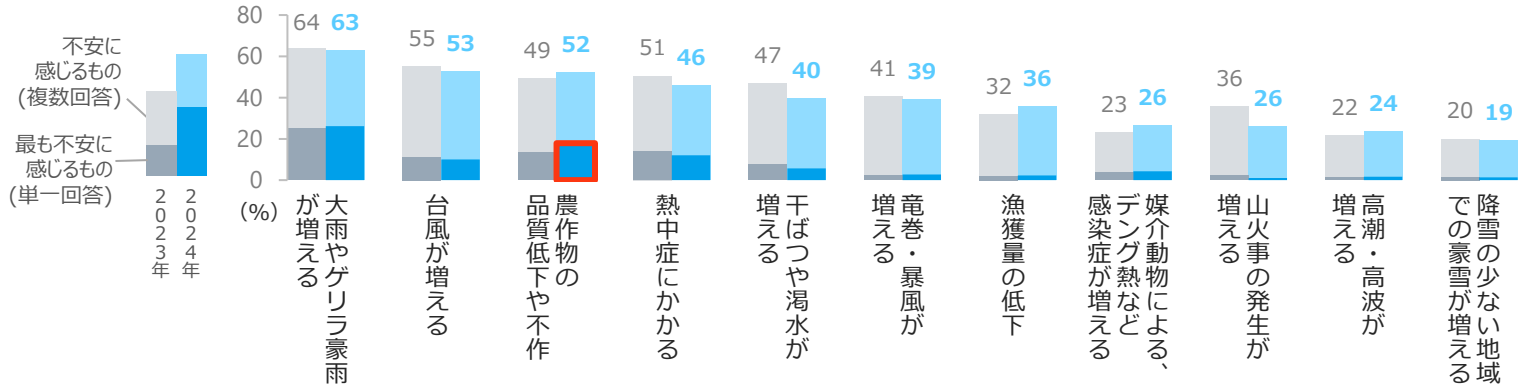


<図2> 日本の食料自給率に対する不安（単一回答：n=2,400）

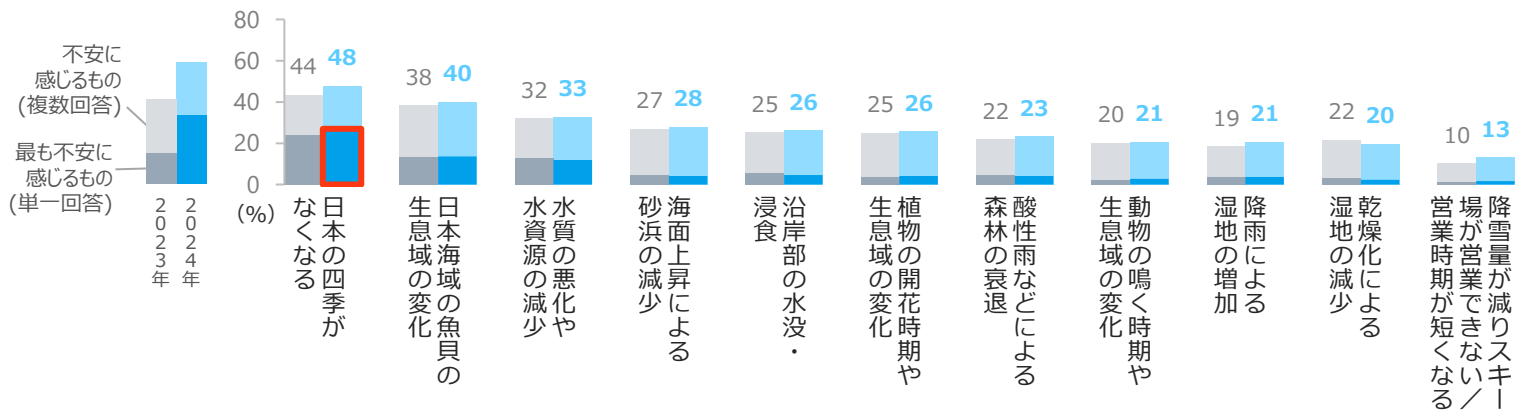


2023年：「2021年度の日本の食料自給率（カロリーベース）は、38%で先進国の中で最低の水準です」と提示し聴取
 2024年：「2023年度の日本の食料自給率（カロリーベース）は、3年連続の38%で先進国の中で最低の水準」と提示し聴取
 * カロリーベース：国民1人が1日当たりに供給している全品目の熱量の合計（供給熱量：2,426kcal）に占める国産の熱量（国産熱量：918kcal）の割合

＜図3＞ 気候変動で起こる自然災害や身体への影響に対する不安（複数回答・単一回答：n=2,400） ※上位11項目を抜粋



＜図4＞ 気候変動で起こる環境や生態系への影響に対する不安（複数回答・単一回答：n=2,400） ※上位11項目を抜粋



■レポート項目一覧

- 調査概要
- 回答者プロフィール（性別・年代・未婚・居住地・同居家族・子どもの有無）
- 調査結果サマリー
- 調査結果詳細
 - 「気候変動適応」の認知
 - 気候変動に対する不安（現在／5年後／10年後）
- 気候変動で不安に感じること（自然災害や身体への影響／環境や生態系への影響）
- 地球温暖化など気候変動の影響により不安に思うこと（自由回答抜粋）
- 気候変動への対策実施状況
- 将来、日本に食料危機は起きるのか
- 日本の食料自給率に対する不安

◆レポートのダウンロードはこちらから <https://www.cross-m.co.jp/report/other/20240912climatechange/>

■調査概要

調査手法：インターネットリサーチ（クロス・マーケティング セルフ型アンケートツール「QiQUMO」使用）
 調査地域：全国47都道府県 調査期間：2024年：8月25日（水）／2023年：8月25日（金）～26日（土）
 調査対象：20～79歳の男女 有効回答数：本調査2,400サンプル

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

会社名：株式会社クロス・マーケティング <https://www.cross-m.co.jp/>
 所在地：東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
 設立：2003年4月1日
 代表者：代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
 事業内容：マーケティングリサーチ事業、マーケティング・リサーチに関わるコンサルテーション

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当：マーケティング部 TEL：03-6859-1192 FAX：03-6859-2275
 E-mail：pr-cm@cross-m.co.jp

「引用・転載時のクレジット表記のお願い」

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。
 <例>「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」